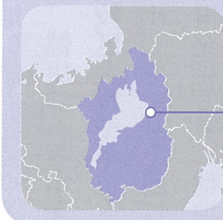


キャンプ場を開いています

滋賀県米原市 宇賀野老人クラブ

会員数 266名(男性132名 女性134名)



滋賀県米原市

米原市宇賀野地区は310世帯、人口約900人の比較的大きな集落です。宇賀野老人クラブは、その地域にあつて266人(169世帯)の会員を擁し、年間を通して、健康・友愛・奉仕を基本に様々な活動に取り組んでいます。

健康づくり活動としては、長らく実施してきた「ダンベル体操」に替えて、今年から市職員の指導で「介護予防体操教室」(10回)を始めました。教室終了後、この体操をビデオなどを使って自主的に続けていくことが課題です。また、週1回はグラウンド・ゴルフの練習会、老連等主催各種スポーツ大会にも積極的に参加しています。友愛活動では、女性部役員が一人暮らしやねたきりの高齢者を

年間延べ100回ほど訪問するほか、友愛訪問や福祉活動の資金のため募金活動にも取り組んでいます。奉仕活動では、神社や墓地、琵琶湖岸等の清掃を年20回ほど行い、延べ約750人の会員、役員に参加いただいています。

そのほかにも、レクリエーション活動や男性料理教室、地域の役員等いろいろな立場の人を交えた宇賀野福祉会主催の交流グラウンド・ゴルフ大会への参画、また保育園児等との交流活動(夏野菜の栽培等)などを行っています。

特に当クラブならではの取り組みとして、地域内に「神明キャンプ場」を開設して運営管理をしていますので、その活動についてご

開きます。

この活動は、参加できる会員で11班の体制を組み、1班4回、44日間の日程で行います。各班の出動者は1日常駐して、朝のうちに湖岸の清掃やトイレ掃除等をして、その後、来場者の案内や駐車料金等の徴収を行います。集まったお金は、老人クラブの活動費に充て有効に使います。なお、地区の各種団体や市内の幼稚園等の利用については無料にしています。出動者へは茶菓子程度の提供にとどめ、キャンプ場閉鎖後に参加者全員で慰労を兼ねた反省会を行っています。

会員相互の親睦も深まる

昨年は、天候にも恵まれて大勢の人に来ていただきました。特に、岐阜や名古屋方面からの若者たちがプレジャーボートで湖上を走り回ったり、バーベキューをして楽しむグループもたくさんありました。また、外国から日本一の琵琶湖へ、その中でも神明キャンプ場を目指して来られてテント泊される方もおられました。対応した当番の会員からは、言葉が通じず、「英会話ができなあかん」との声も出ていたようです。

とにかく無事終えることができ、恒例の反省会では79名の参加で盛り上がりました。今後



にぎわいを見せるバーベキュー



設、運営しています。この活動が始まったのは昭和43年頃で、今日まで50年近く続いています。キャンプ場は、7月初旬の開設準備に始まり、安全祈願の後、7月18日から8月30日まで



朝の湖岸清掃作業

も、来場者には美しい環境で喜んでもらえるように、また、キャンプ場の運営に取り組むことで、老人クラブ会員相互のコミュニケーションや親睦が一層深まり、仲間同士の助け合いや心身の健康増進にもつながるように、活動を続けていきたいと思っています。

(前会長 谷村純一)



琵琶湖に響く子どもたちの歓声

会員の連携でキャンプ場を開設・運営

当地区が琵琶湖の近くに位置している関係から、地域内の宇賀野神明浜湖岸と坂田神明宮の所有地をお借りして毎年キャンプ場を開

紹介します。